



平成 年産 共済減収調査
麦類減収標本調査票

記入見本 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

年産	作物名	局・農政事務所	センター	市町村	標本単位区	筆の通し番号	調査者氏名
2 0							

筆の所在地	市町村	大字	小字	地番	氏名
耕作者住所	市町村				電話 ()

1 観察・聞き取り事項

品 種	栽 培 様 式			は種期	出穂期	農家の刈取り期
	ばらまき	すじまき ・ 広幅まき	株(点)まき			
	1	2	3	月 日	月 日	月 日

2 栽植密度・単位当たり穂量率

畝幅・株間測定						調査箇所の略図	
調査箇所	すじまき・広幅まき・株(点)まき栽培					刈取り株数	全けい数 n = けい 間隔 1/3n = けい ランダムスタートa = 第 けい
	(1) 畝幅 〔6けい間 の長さ〕	(2) 株間 〔11株間 の長さ〕	(4) 平均畝幅 (1)/5	(5) 平均株間 (2)/10	(5) 1㎡当たり けい長(株数)		
I	cm	cm	0.1cm	0.1cm	cm (0.1株)	株	
II							
III							
合計	(6)	(8)				(10)	
平均	(7) (6)/15	(9) (8)/30					
(11) 栽培方法別 10a当たり 換算率	ばらまき		すじまき・広幅まき		株(点)まき		
	333.3又は250		333.3		$\frac{10,000,000}{(7) \times (9) \times (10)}$ (単位: 0.1)		
作付面積 利用度による修正	畝落とし栽培の明らかでない場合		(12) 標準畝幅 cm			(15) 修正率(単位: 0.001) (7)/(12)	
	ばらまき栽培で排水溝がある場合		(13) ほ場の本地面積 a	(14) 排水溝の面積 a	(15) 修正率(単位: 0.001) $\frac{(13)-(14)}{(13)}$		

3 調査筆の10a当たり見積り収量

刈取り日	(16) 生穂重の重量	(17) 10 a 当たり生穂重 (16) × (11)	(18) 修正10 a 当たり生穂重 (17) × (15)			
月 日	g	kg	kg			
10a当たり生穂重 (17)又は(18)	回帰線 (Y)	回帰線上の 10a当たり収量	図表から 選んだ点	図表から選んだ 10a当たり収量	選んだ理由	10 a 当たり筆 平均見積り収量
kg	線	kg	(Y) % + -	kg	晴天続き・雨天 早刈り・適期刈り 被害 甚・中・軽 その他 ()	kg

通し番号	標本筆の 字地番	引受 方式 及び 補償 割合 ①	10 a 当たり 共 済 基 準 収 穫 量 ② kg	10 a 当たり 平均収量 ③ kg	10 a 当たり 見積り収量 ④ kg	備 考
調 査 筆	(1)	・	・	・	・	
	(2)	・	・	・	・	
	(3)	・	・	・	・	
	(4)	・	・	・	・	
	(5)	・	・	・	・	

(記入注意)

1 刈取りの調査対象範囲及び (5) 算出式は次のとおりである。

栽培様式	ばらまき	すじまき・広幅まき	点(株)まき
刈取り	1 m ² (円形刈り)	1 m ² 当たり けい長	1 m ² 当たり 株数
算出式		10,000 / (3)	$\frac{10,000}{(3) \times (4)}$

2 (11)のばらまきで333.3は1 m²3箇所刈り、250は1 m²4箇所刈りの場合である。

3 (18)の修正10a当たり生穂重は(15)の作付面積利用率による修正率を乗じて算出する。